

ひので映画大使最新版

第41回映画大使「マン・オブ・スティール」

期 日 平成25年8月22日(木) 試写会にて開催
 場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

誰もが知っているアメコミ最高のヒーロー「スーパーマン」！その誕生秘話が遂に明かされる！

心弱い青年がいかにして最強のヒーローになったのか！過去の作品でお馴染みの新聞記者「クラーク・ケント」誕生の瞬間をあなたは目撃する！

クラーク役のヘンリー・カビル、ロイス役のエイミー・アダムスに加え、「マトリックス」のローレンス・フィッシュバーン、「ストリート・オブ・ファイヤー」のダイアン・レイン、「ボディガード」のケビン・コスナー、そして、「レ・ミゼラブル」のラッセル・クロウなど、大物俳優陣が物語を更に熱くする！！



TM & (C) 2013 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC. ALL RIGHTS RESERVED. TM & (C) DC COMICS

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

ド派手なアクションにただ茫然！

その中にあるメッセージにも共感！

懐かしさと、新しさを同時体験！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

映像の凄さに圧倒されました。過去に演じた方よりも、肉体美が凄かったですね。彼の誕生について正面から焦点を当てていて興味深かったです。驚異的な映画でした！

Bさん

昔、テレビで観たスーパーマンは最初から新聞記者でした。今回、予備知識のない状態で観たら、凄いスケールと、思っていたイメージではない事から、まるで、別の世界のスーパーマンを観ているようでした。ラストに思わずニヤッとしました！

Cさん

「スーパーマン」という名前は知っていましたが、作品自体を観るのは今回が初めてでした。凄い迫力で疲れました！でもその中にも家族愛などのメッセージが描かれていましたね。楽しかったです！

Dさん

最初からドキドキでしたが、子ども達が観ても大丈夫かと思うくらいの迫力でした。でも、今の子ども達は凄い映像には慣れているからいいのかなと。私の小さかった頃には考えられない程の映像、アクションに圧倒されました。昔から「スーパーマン」はずっと観てきましたが、今回の話が物語としては最初の部分との事です。新聞記者になってからの活躍しか知らなかったのですが、昔のシリーズにも最初の部分はあったらしいですね。なので、今作からまた新しい迫力満点のシリーズが始まるかもしれませんね。

Eさん

「スーパーマン」の原点が観れて良かったです。これで納得できると思います。母親の偉大さも感じる事が出来て、人間とは違う力を持っている彼を、普通の子として受け止めるシーンには感動しました。

Fさん

「スーパーマン」は昔、テレビアニメで観た事があって、実写は初めてだったのですが、CGでの爆撃の迫力など、やはり最新の映画だなと、思いました。違う星の人達を助けたり、人と人が信じ合う姿など、人種差別に対するメッセージも含まれていましたね。

Gさん

子どもの頃に漫画版を観ました。新聞記者で電話ボックスから出てくる所が印象的ですが、どういう経緯で、地球人を助けるようになったのか、という疑問が解けました。地球という若い星が自分の星(クリプトン星)のようになって欲しくないという思いから自分の子を送り込んだ本当のお父さん、本当の親子ではないのに、わが子同然に受け入れたり、違う考え方や文化を理解するといった地球の両親。広い心って凄いな、と思いました。

📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・音響も凄かったですね。
- ・あまりのスピード感に、目で追うのが大変でした！
- ・ケビン コスナーが演じた父親の、子を想う気持ちがひしひしと伝わりました。
- ・凶悪な敵でも、同胞に対してはやはり、情みたいなものが生まれるんですね。敵も敵なりの戦う理由がありましたしね。
- ・3D版でしたが、飛び出してくるっていうよりも、奥行きを感じさせる作りでしたね。
- ・大都会で闘う事ないですよ。人気のない所で決闘すればいいのに(笑)。建物が壊れる事での迫力増加の演出でしょうね。
- ・「家族愛」がしっかり描かれています。親子で見て欲しいですね。
- ・設定をよく知ってから観ると、なお楽しめると思います。スーツの仕組みとか・・・
- ・ムキムキの彼も、スーツ着てメガネだと普通に新聞記者っぽいですよ。
- ・ラッセル クロウもいい味出していました！
- ・環境破壊に対するメッセージも伝わりました。

📌 まとめ

昔、子どもの頃に観て、憧れたヒーロー「スーパーマン」。タイトルは「マン・オブ・スティール」=「鋼の男」と今風に変えられましたが、あの胸の「S」の字を見れば誰が何と言おうと「スーパーマン」。力強く大地を蹴り、超高速で飛び回る彼の姿はいつの時代でもカッコいいヒーローなんですね。

この作品は、「地球の未来」「他種族との共存」などメッセージ性の強い作品でもありました。その時代で何かが起きる時、「彼」はきっと現れる事でしょう・・・

3Dで迫力も倍増のこの作品、是非劇場の大スクリーンでご覧ください！

➡ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➡ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.